

# 山形の医師ガザ入り

## 救急活動開始、窮状訴え

山形市のNPO法人「地球のステージ」代表で精神科医の桑山紀彦さん(45)が15日、イスラエル軍から攻撃を受けているパレスチナ

感にさいなまれてい  
る。日本をはじめ世界  
はもっとパレスチナに  
目を向けてほしい」と  
窮状を訴えている。

桑山さんは15日午  
前、エジプト国境から  
ラファ検問所を通りガ  
ザ地区南部に入った。  
検問所から車で約10分  
のラファ市立病院を拠  
点に、現地やベルギー

の医師とともに救命救  
急活動に携わってい  
る。攻撃対象の中心に  
なっているガザ市に比  
べ、ラファ市の被害  
は少ないものの、市中  
心部の建物も狙われ、  
多数のけが人が出て  
おり、瀕死（ひんじ）の患者も担

ぎ込まれているとい  
う。

桑山さんは、東ティ  
モールや津波被害を受  
けたインドネシアで心  
に傷を負った人への心  
のケアを中心に、海外  
支援活動を続けてきた。  
「地球のステージ」  
は03年5月、ラファ市  
に事務所を開設。同市  
の福祉財団と協力し、  
子供たちの戦争のスト  
レスが報復テロへと結  
びつかないよう、絵画  
や演劇、サッカー教室  
などを開いてきた。

8日に日本を出発  
し、当初は北部からガ  
ザ地区に入ろうとした  
が、封鎖されて入れず  
断念。エジプト経由で  
南部からガザ地区に入  
った。検問所で足止め  
されたが「医師として  
受け入れたい」という  
福祉財団の招へい状を  
手に交渉を重ね、通過  
が認められた。

桑山さんは「イスラ  
エル軍機が絶えず飛ん  
でおり、外出しにくい  
状態。皆バラバラに避  
難しており、安否状況  
を確認できない」と実  
情を語った。19日には、  
ラファを離れる予定と  
いう。【大久保渉】



ラファ市内の病院で救命活動に当たる桑山医師(左)  
15日夕、「地球のステージ」スタッフ撮影